

水産業強化対策事業事後評価報告書

作成部署名: 岩手県農林水産部水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	28-2
事業実施主体	盛川漁業協同組合	
実施地区名	盛川水系中流域～上流域	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	28年度	28年度
交付金額	200,000円	
事業計画の内容	内水面水産資源の調査、盛川におけるアユ、ウナギ等の資源量調査を行うもの	
評価	成果目標	
	現状値	—
	目標値	—
	(1) 現状値の説明	—
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3) 所見	7月から12月に予定していた調査が天候不順、増水、台風等の災害により大きく影響を受けたため実施できず、アユやヤマメ等の資源は確認されたものの、調査日数が2回に留まり、資源量の評価までには至らなかった。
(4) 評価機関の意見等	—	
今後の改善方向等に関する分析	盛川におけるアユ、ヤマメ等の資源量を把握するためには、データの蓄積が必要	

水産業強化対策事業事後評価報告書

作成部署名: 岩手県農林水産部水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	28-3
事業実施主体	岩泉町	
実施地区名	岩泉町	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	28年度	28年度
交付金額	1,000,000円	
事業計画の内容	安家川におけるヤマメ、ウグイ等水産資源の回復手法等の検討に資するための資源量及び生息環境調査	
評価	成果目標	
	現状値	—
	目標値	—
	(1) 現状値の説明	—
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3) 所見	関係者との調整や、平成28年台風第10号の被災状況を勘案し、調査の実施回数が減となったもの。
	(4) 評価機関の意見等	—
今後の改善方向等に関する分析	事後評価報告時点でも、安家川の内水面水産資源については、平成28年台風第10号による攪乱や河川工事の影響が懸念される状況であることから、継続した調査の実施によりその影響を評価していくことが望ましい。	

水産業強化対策事業事後評価報告書

作成部署名: 岩手県農林水産部水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増殖目標	28-4
事業実施主体	岩手県内水面水産技術センター	
実施地区名	岩泉町、野田村、花巻市	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	28年度	28年度
交付金額	3,519,000円	
事業計画の内容	サクラマス資源を回復させる方法の開発(産卵床調査及び放流効果調査)	
評価	成果目標	
	現状値	—
	目標値	—
	(1)現状値の説明	—
	(2)地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3)所見	産卵床調査:本県は台風10号による甚大な河川被害を受けたが、サクラマス産卵床及びサクラマス遡上親魚も確認することができた。一方、被災前に産卵床が集中していた地区では、1箇所しか確認できないところもあり資源への影響が懸念。 放流効果調査:稚魚を採捕することができ、採捕した稚魚の耳石温度標識魚を放流直後の7月、12月及び翌年3月に放流地点周辺で確認。今後は、親魚の回帰状況を確認し、放流効果を検討する。
	(4)評価機関の意見等	—
今後の改善方向等に関する分析	調査は今後も継続し、平成28年度の台風第10号災害の影響や、平成29年度の調査結果との関わり等を検討していく	